

産業振興センターにおける産学官連携の取り組み

○三宮 英嗣（公益財団法人高知県産業振興センター）

1. はじめに

当センターは、高知の良さや強みを活かした地域産業の活性化を総合的に支援する事業を行うことにより、高知県の産業振興を図るとともに、活力ある地域経済の発展に寄与することを目的に設立された。また、県が行う中小企業支援事業の実施体制の中心として「中小企業支援センター」の指定や、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う「経営革新等支援機関」の認定を受けるなど県内中小企業の支援を第一の使命とする公益財団法人である。プロパー職員や、豊富な経験を有する民間企業出身の専門職員、全国レベルの経営・マーケティング・技術のエキスパートを配置し、ものづくり産業の体質強化や経営の革新や創業の促進などをはじめとする中小企業の様々な課題の解決に取り組んでいるが、今回は産学官連携による研究開発事業の推進の取り組み事例について紹介したい。

2. 「地域研究成果事業化支援事業」による産学官連携の支援

当センターにおける産学官連携支援の柱のひとつに、「こうち産業振興基金」を活用した地域研究成果事業化支援事業がある。これは高知県が独立行政法人中小企業基盤整備機構の中小企業応援ファンド事業を活用し、金融機関等の協力を得て平成19年9月に造成した基金（基金総額：100億円）の運用益を財源に、大学や企業の研究開発の成果や技術シーズ等を活用し、県内での事業化を促進するため、中小企業等や大学・公設試験場等が連携して取り組む事業化に向けた研究開発の取り組みを支援するものである。平成19年度に開始し、これまで述べ26プロジェクトが採択された。採択された企業からは、「資金援助による早期製品開発・事業化の実現が可能となった。」「他機関と連携する機会が生まれ、自社の研究開発力が高まった。」という声を多く頂いている。

| 年 度 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 採 択 件 数 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 4 | 3 | 2 | 3 |

表1 年度別の採択件数

3. 「戦略的基盤技術高度化支援事業」による産学官連携の支援

また、産学官連携を支援する国の制度として戦略的基盤技術高度化支援事業がある。当センターは事業管理機関として研究開発計画の運営管理や共同体構成員相互の調整を行っている。平成26年度が最終年度となる「懸濁結晶法による凍結濃縮システムの事業化」の研究開発に事業管理機関として携わった。事業の円滑な遂行を第一に心掛けたものの、共同体に対する資料の作成依頼が遅れた結果、短期間での報告書作成を強いるなど反省すべき点が多々あり猛省することとなった。平成27年度は残念ながら高知県の研究開発計画は採択されなかったが、人件費も対象となる有利な当該事業に次年度こそ採択となるプロジェクトを発掘したいと考えている。

4. 課題と今後の対応

これまでの補助事業を通じて、新規案件の発掘と事業化の促進が課題として位置づけた。その理由として、平成19年度から開始した地域研究成果事業化支援事業では近年応募件数が少なくなっていること、また、戦略的基盤技術高度化支援事業でも平成25年度以降は新

規事業が採択されていないことによる。また、採択された取り組みのうち研究成果が実を結び製品化を達成し、売り上げに大きく貢献した取り組みが少ないことによる。これらの課題解決に向けて、平成27年度から県内在住の研究開発コーディネーターを1名配置するとともに積極的な企業訪問活動を行ってきた。その効果、新たな研究開発の取り組みの発掘が進んでおり早速効果は表れている。

5. 製品化した事例



事業名：地域研究成果事業化支援事業
 企業名：山本貴金属地金株式会社
 製品名：KZR-CADハイブリッドレジンブロック
 備考：欠損した歯の修復に用いるCAD/CAMシステムに対応した歯科切削加工用レジン材料。独自のクラスター状フィラーを用いることで、臼歯部でも使用できる高い強度が得られている。また、H26.4より保険適用となったことで大幅な需要の増加が見込まれている。



事業名：地域研究成果事業化支援事業
 製品名：バイオマス再資源化装置
 (連続式精油抽出・乾燥装置)
 企業名：兼松エンジニアリング株式会社
 備考：マイクロ波減圧蒸留法による精油連続抽出と果皮等の乾燥を同時に行う装置。H26年度以降、展示会への出展及びフォロー営業をセンターCOと共に実施している。



事業名：戦略的基盤技術高度化支援事業
 製品名：自動凍結濃縮装置(仮称)
 研究体：株式会社垣内、光電設株式会社、高知工科大学、高知工業高等専門学校、高知県工業技術センター
 備考：溶質の劣化や芳香成分の散逸をわずかに抑え、成分を損なわずに濃縮が可能。濃縮により容積が減る分、運送・保管コストも大幅に低減できる。含有成分のうま味や香りを強化することで、食品の付加価値も期待できる。

6. おわりに

私自身、産学官が連携するメリットは、助成金制度はもとより人脈の構築という点にあると思っている。産学官連携による県内産業の振興に向けて、これからも高知県産学官民連携センター(ココプラ)が開催するイベントをはじめ、様々な会合に積極的に参加していこうと決心した次第である。